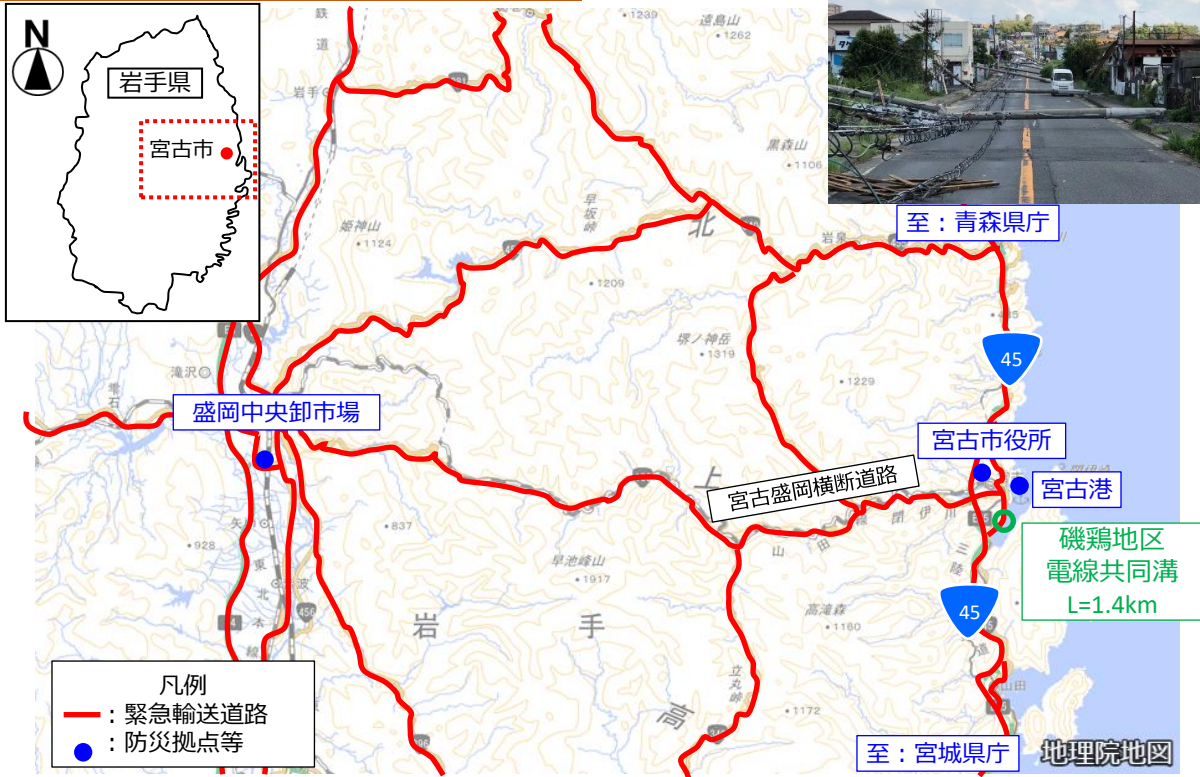


無電柱化により、災害時の緊急輸送道路の道路閉塞等の被害を防止する（岩手県宮古市）

被災事例（H30.9 大阪府泉南市）



対策名：54 市街地等の緊急輸送道路における無電柱化対策

主たる施策グループ：1-1) 大規模地震に伴う、住宅・建物・不特定多数が集まる施設等の複合的・大規模倒壊による多数の死傷者の発生

事業名：国道45号磯鶏地区電線共同溝

- ポイント**
- 緊急輸送道路の無電柱化を実施し、電柱倒壊による道路閉塞を未然に防止
 - 災害時の救急救命・復旧活動に必要な交通機能を確保

地域の概要・課題

国道45号は、宮城県仙台市から三陸沿岸を経て青森県青森市と接続する重要物流道路であり、宮城県庁と青森県庁を連絡する第一次緊急輸送道路に指定されています。

また、内陸の物流拠点（盛岡中央卸市場）と重要港湾宮古港を結ぶ宮古盛岡横断道路に接続する重要な路線であり、無電柱化を実施することで、電柱倒壊による道路閉塞を未然に防止する必要があります。

事業の概要

電柱倒壊による社会的影響が大きい市街地等の緊急輸送道路において、電線共同溝を整備し、無電柱化を実施しています。

当該路線は宮古市無電柱化推進計画（令和2年3月版）にも位置づけられています。

併せて安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。

見込まれる効果

無電柱化することにより、電柱倒壊による道路閉塞を未然に防ぎ、大規模災害時の被害の軽減を図るとともに、救急救命・復旧活動に必要な交通機能を確保します。

対策前（R2撮影）



管路布設状況（R4撮影）



1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

3 国土強靱化に関する施策のデジタル化

(2) 伝達の高情報化の予測、収集・集積